

一学期の総合的な学習の時間に、私たちはある質問を投げかけられました。「みなさんは将来、北郷に帰って来たいと思っていますか。」

この質問は9年生全員が、「はい」と答えた。私たちに帰って来たいと思わせるこの北郷には、数えきれないほどの魅力がある。

美郷町北郷、人口約1700人の小さな町。最近では年々人口が減ってきており、限界集落となってきた。しかし、それ以上に北郷はみんなが誇れる素晴らしいところがたくさんある。今回はその中のいくつかを紹介したい。

最初に、私たちが日頃、当たり前のように見ている満点の星空である。天気の良い日には、月や星だけで空が明るい。「星降る地蔵の里」という別名をもつほどだ。北郷の山奥にある施設「昴ドーム」。ここでは、星や月をはじめ、流星群や星座などが観察できる。星好きにはたまらない絶好の星空観察スポットだ。是非、みなさんも一度は行ってみたい。



次に北郷で行われる祭りについてだ。北郷では毎年いくつか祭りが行われるのだが、その中で一番大きな祭りといえば「宇納間地蔵大祭」である。火伏せ地蔵という、約200年前に江戸で発生した大火災を鎮火させたと伝えられている地蔵様が鎮座され、多くの信仰を集めている。参拝客は地蔵尊を描いたお札を家の火を使う場所に貼り、火除けを祈願するのだ。毎年、町外から多くの人々が参拝に訪れている。そして、私たちの学校も毎年、祭りの最終日に生徒会を中心としてボランティアを行っている。活動自体はごみ拾いやお茶出しといった小さなことだが、少しでも町の人たちの役に立てていると思うとこの活動に誇りを感じる。この活動は私たちが卒業した後もずっと続いていくと良いと思う。



もう一つの祭りは、私が住んでいる北郷の長野地区で行われる薬師相撲大会だ。この祭りは厄除けや健康祈願に明治時代から続けられているものだ。私の父も、毎年、参加している。小学生以下が参加できる子供相撲や、その年に生まれた子供を土俵に上げ、無病息災を願う催し事もある。私はどちらも過去に経験した。特に、子供相撲は、毎年、とても盛り上がる。この祭りでは、「南無薬師瑠璃光如来」という仏様が祀られているが、私の名前はこの仏様からいただいた。私はこの名前が大好きだ。だから、この名前を付けてくれた両親に感謝している。これからもずっと自分の名前を大切にしていきたい。

また、人が優しいところも北郷の良さといえる。何かイベントがあれば町民全体で一つになり、盛り上げる。人が優しく、仲の良いこの北郷はとても居心地が良い。私も大人になったら北郷に帰って貢献したい。

今まで紹介したもの以外にも北郷には良いところが山ほどある。しかし、私がどれほどここで紹介したとしても、すべては伝えきれない。「百聞は一見に如かず」一度、北郷に来て、この町の魅力を知ってほしい。